

神戸を中心とした兵庫県郷土研究誌

第64巻 第5号

歴史と神戸

特集 多彩な史料から読み解く近世おもしろ話



深江漁港と商船大学進徳丸（昭和42～47年）

画・田中邦彦画伯

64巻 5 号／歴史と神戸／もくじ

特集 多彩な史料から読み解く近世おもしろ話

- 垂水の垂水と滝の茶屋 須藤 宏 (1)
－画僧白雲の画帖から－
- 尼崎市立歴史博物館蔵の泉屋利兵衛壺匁銀札の版木 … 岸添 和義 (21)
- 旧加古郡の寺子屋の特色と旧平岡村の調査報告 鈴木 敏雄 (27)
- 講談「忠臣蔵」と赤穂浪人 柴田 昭彦 (39)
－多可町の高木庄左衛門と奥野将監－
- 播磨の考古学 ―今里幾次の弥生と瓦と駅家研究―
在野研究者の特別展によせて 松岡 千寿 (45)
- 残暑見舞い申し上げます (49)

新聞地域版を読む (20、26、38、44、49) 新入会員紹介 (49)
表紙の作者・田中邦彦氏

巻頭言

神戸史学会の第二回受賞者の今里幾次さんの所蔵資料を展示した特別展「播磨の考古学―今里幾次の弥生と瓦と駅家研究―」が兵庫県立考古博物館で開催されている。展示の内容や経緯は本誌の松岡千寿さんの記事を読んでほしい。

今里さんの時代は行政発掘がなく、民間の研究者が地表で土器片や石器、古瓦を拾い、その分析から史論を組み立てた。手作りの民間主導の研究だった。やがて文化財保護法が整備され、行政発掘が始まると、出土遺物は爆発的に増え、民間の守備範囲は狭まった。

親交があり展示準備にかかわった当会副代表の増田行雄さんによれば、今里さんは当初弥生時代と古瓦の二本柱で研究。しかし時代の変化を感じ弥生研究は行政にゆだね、古瓦研究に軸足を移したという。オリジナルを追究し続けた在野の開拓者精神を学びたい。特別展は一月二四日まで。

(大国)

兵庫の城 353選

姫路城をはじめ、中世の山城から幕末の砲台跡まで、1000を超す城から厳選して紹介。

本岡勇一・著 ●定価2,420円(税込)

萩原一青の城郭画と 兵庫の名城

尼崎城をはじめ兵庫県の城郭図を読み解き、城郭画家・萩原一青の波乱の人生と事績をたどる。

大国正美 辻川 敦・編著

●定価2,200円(税込)

城下町姫路と播磨

村から町への変遷、城下町特有の景観や考古資料など、多角的に播磨・姫路の城下町を解明する。

播磨学研究所・編 ●定価1,980円(税込)

兵庫の庭園ものがたり

日本の名園と探る

兵庫の庭園を27のテーマに分けて魅力を語る。日本の名園との比較や、今後の課題も提言する。

西 桂・著 ●定価2,420円(税込)

ひょうご鉄学いまむかし

播磨のたたら製鉄

西播磨の山間部を中心に行われてきた「たたら製鉄」。兵庫の製鉄の歩みと歴史をひもとく。

兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室・編／村上泰樹 土佐雅彦 坂江渉・監修

●定価1,320円(税込)

ひょうごの仏像探訪

県立歴史博物館で仏教彫刻を担当した著者が、記憶に残る仏像や多彩な仏像の魅力を紹介。

神戸佳文・著 ●定価2,200円(税込)

兵庫県の古代遺跡 1 2

全国有数の遺跡数を誇る兵庫県。特色ある古墳や出土品、近年発掘された遺跡を全2巻で。

櫃本誠一 岸本一宏 大手前大学史学研究所・編 ●定価各4,180円(税込)

自費出版のご相談は

078-362-7143(出版部)

jihishuppan-kpc@kobe-np.co.jp

神戸新聞総合出版センター

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7

TEL078-362-7138(販売) FAX078-361-7552

▶<https://kobe-yomitai.jp/> 公式 X @kobe_np_syuppan

創刊・昭和37年8月15日
会費・年額三千円(1~12月)
隔月刊・歴史と神戸 第64巻第5号
令和7年10月1日発行

編集発行 神戸史学会
〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町三丁目一ノ四
田中印刷出版株式会社内
電話(078)871-0551
振替口座 〇一 九〇一 一四〇一 八

代表兼編集人 大国正美

副代表 増田行雄
会計担当 有吉康徳

◆会費納入の銀行振込をご希望の方は、
メールでお問い合わせください。